

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 4 区分  
 【発行日】平成22年3月4日 (2010.3.4)

【公開番号】特開2009-259401(P2009-259401A)  
 【公開日】平成21年11月5日 (2009.11.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2009-044  
 【出願番号】特願2009-186220(P2009-186220)  
 【国際特許分類】

G 1 1 B 7/135 (2006.01)

G 1 1 B 7/09 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 7/135 Z

G 1 1 B 7/09 C

【手続補正書】  
 【提出日】平成22年1月14日 (2010.1.14)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

レーザ光を発するレーザ光源と、

前記レーザ光源が発するレーザ光を回折させて、少なくとも 3 本の光束に分岐させる回折格子と、

前記レーザ光源が発するレーザ光を光ディスクに集光させる対物レンズと、

前記光ディスクからの反射光を検出する検出器と、  
を有し、

前記回折格子は、所定の周期構造を有する、第 1 の領域、第 2 の領域、第 3 の領域の少なくとも 3 つの領域に分割されており、

前記第 1 の領域は、前記第 2 の領域と前記第 3 の領域の間に配置され、

前記第 2 の領域を回折した第 2 のレーザ光の平均的な波面位相と前記第 3 の領域を回折した第 3 のレーザ光の平均的な波面位相は、前記レーザ光の波長の略 2 分の 1 に相当する量だけ乖離しており、かつ、前記第 1 の領域を回折した第 1 のレーザ光の平均的な波面位相は、前記第 2 及び前記第 3 のレーザ光の平均的な波面位相の間に存することを特徴とする光ピックアップ。

【請求項 2】

レーザ光を発するレーザ光源と、

前記レーザ光源が発するレーザ光を回折させて、少なくとも 3 本の光束に分岐させる回折格子と、

前記レーザ光源が発するレーザ光を光ディスクに集光させる対物レンズと、

前記光ディスクからの反射光を検出する検出器と、  
を有し、

前記回折格子は、所定の周期構造を有する、第 1 の領域、第 2 の領域、第 3 の領域の少なくとも 3 つの領域に分割されており、

前記第 1 の領域は、前記第 2 の領域と前記第 3 の領域の間に配置され、

前記第 2 の領域を回折した第 2 のレーザ光の平均的な波面位相と前記第 3 の領域を回折した第 3 のレーザ光の平均的な波面位相は、前記レーザ光の波長の略 2 分の 1 に相当する

量だけ乖離しており、かつ、前記第 1 の領域を回折した第 1 のレーザ光の平均的な波面位相は、前記第 2 及び前記第 3 のレーザ光の平均的な波面位相と異なることを特徴とする光ピックアップ。

**【請求項 3】**

前記光学的情報記録媒体の記録面上に周期的に配置された案内溝に対して略直交する方向に関して前記 3 個の集光スポットを略ゼロもしくは前記案内溝周期の略整数倍の間隔で配置したことを特徴する請求項 1 記載の光ピックアップ。